

「私たち平和行進の出発の日」

◎「二月十一日：旧・紀元節」、これは、架空の物語神話に基く「天皇制原点の日」です。それ故、現憲法の国民主権の下に、五〇余年前に廃棄されました。しかし、一九六七年、日本政府は、戦前・戦中の天皇制国家の復権を意図として、装いを変え「建国記念の日」として、再びこれを制定したのです。それは、靖国神社を国営化しようとしたことから明らかなことです。

◎皆さん、戦前・戦中の「天皇制」の実態は、何だったのでしょいか。そこには、「個人としての人權」や「真の平和」はなく、「天皇」の下に国家総動員体制が敷かれ、侵略戦争を起こし、アジアの平和を踏みにじり、数え切れない人々の命を奪った「軍国主義」そのものでしかありませんでした。

◎にもかかわらず、再び忌まわしい「天皇制」が顔を出してきた…。

◎このことに憂えた私たちは、勇気をもって立ち上がり、現憲法を守る行進（運動）を始めたのでした。そうです！この「建国記念の日」は、平和憲法を守る私たちの出発の日でもあるのです。

◎さらに、昨年からは「日米・新ガイドライン」が浮上し、三月には、この浜松基地には、AWACSが配備され、新たな戦争の準備が始まりつつあるというこの無神経さ！

◎日本の現状をよく見、これ以上、戦争への道が開かれる事のないように、共に立ち上がるではありませんか。

一九九八年二月八日（日）第三七二回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会

事務局 浜松市紺屋町三〇一〜十五